とうほくふるさと情報 H26年3月版

～東京司法書士会でピックアップした東北関連の情報をお届けします～

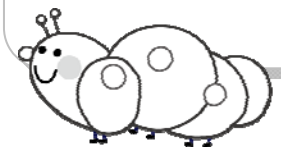
どーなってるの？損害賠償！

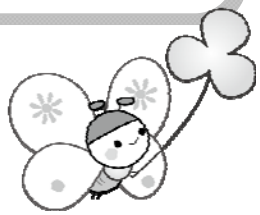
原子力損害賠償紛争解決センター（ADR センター）について

原発事故による損害賠償の請求については、東京電力との直接交渉や裁判以外に国の「原子力損害賠償紛争解決センター（ADR センター）」を利用することもできます。直接の交渉で示された賠償金額では合意できない場合、直接の交渉で被害を申し出たが賠償されない場合、裁判をするのは手続きが難しいと感じられるなどといった場合などに利用できます。

平成２６年２月末現在、１０，１４５件の申し立てがされ、６，９１４件の和解が成立しています。

司法書士は、原子力損害賠償紛争解決センターにおける手続きの代理、又は原子力損害賠償紛争解決センターに提出する書類の作成に応じることができます。
東京電力が提示する損害賠償金額にご不満がある方、お気軽にご相談ください。（司法書士相談センター等については裏面にてご紹介しています）





相談会を行いました（ご報告）

３月８日（土）電話相談会のご報告

平成２６年３月８日（土）、午前１０時から午後４時まで、東日本大震災の被災者のための無料電話相談会を行いました。
当日は、５件のご相談がありました。原発事故賠償に関するご相談のほか、住居や離婚問題に関するご相談が寄せられました。
次回の相談会の開催についても、決まり次第本紙面でご案内させていただきます。

岩手

大沢小新聞が文科大臣賞
「地域の人元気に」

山田町大沢の大沢小（佐久間充校長、児童92人）の学校新聞「海よ光れ」が2013年度全国小・中学校・PTA新聞コンクール（毎日新聞社主催）小学校学校新聞の部で文部科学大臣賞を受賞し、同校で6日、賞状伝達式が行われた。被災した古里に元気を－という思いが詰まった新聞が栄誉に輝いた。

同部門には643点の応募があり、同校は最高賞の内閣総理大臣賞に次ぐ賞となった。

（岩手日報 2014/3/8 より抜粋）

宮城

復興胸に学びや巣立つ
仙台６３中学校で卒業式

仙台市内の市立中学全63校で8日、卒業式が行われた。3年間の学校生活は東日本大震災からの復興の歩みと重なる。卒業生たちは恩師や仲間と支え合った思い出を振り返り、学びやを巣立った。

宮城野区の高砂中（生徒561人）では、震災で被災して改修した体育館で、午前10時から式が行われた。

卒業生205人の名前が読み上げられ、一人一人に卒業証書が手渡された。

（河北新報 2014/3/8 より抜粋）

福島

常磐道、２７年度早期に全線開通　国交相示す

太田昭宏国土交通相は6日、福島民報社のインタビューに応じ、未開通区間の建設が進む常磐自動車道について平成27年度の早い時期の全線開通となる見通しを示した。全線開通により、東京電力福島第一原発事故による避難区域の復興が加速化し、分断されていた浜通りの南北が結ばれ住民らの利便性向上につながると期待される。（福島民友　2014/3/8 より抜粋）

面談による相談（予約制）

●東京司法書士会総合相談センター（四谷・金曜 17 時～20 時）

ご予約電話番号：０３－３３５３－９２０５

予約受付時間：平日午前９時～１２時、午後１時～５時

場所：東京都新宿区本塩町 9-3（JR・東京メトロ 四ツ谷駅　徒歩約4分）

●三多摩総合相談センター（立川）

ご予約電話番号：０４２－５４８－３９３３

予約受付時間：平日午前９時～１２時、午後１時～５時

場所：東京都立川市曙町 2-34-13 オリンピック第3ビル 202-A

（JR 立川駅 北口 徒歩6分、多摩都市モノレール 立川北駅 徒歩5分）

電話による相談

電話番号：０３－３３５３－２７００

相談時間：平日　午前１０時～午後４時（受付は午後３時４５分をもって終了いたします）

※通話料はご相談者様の自己負担となります。